

アンケート等でニーズをつかみレストラン開業（丹波市）

活用資源	町家
取組主体	株式会社まちづくり柏原

概要

- ・丹波市柏原町^{かいばらちょう}は、八幡神社の門前町として、また柏原藩の城下町として栄え、現在も武家屋敷や町家、細い路地、水路など風情あるまちなみが残っています。
- ・町民有志によって設立された「株式会社まちづくり柏原」は、柏原の旧市街地に昔のにぎわいを取り戻すため、以下の活動に取り組んでいます。
 - ①テナントミックス事業
まちづくり柏原は、空き家・空き店舗を把握し、地域ニーズのある業種・業態を踏まえ、出店希望者とのマッチングを行っています。その第1号で、まちづくり会社設立のきっかけともなったのが、イタリア料理店「オルモ」の開業でした。
 - ②街路整備事業
まちづくり柏原は、城下町らしいまちなみ創出の一つとして、車道は土の雰囲気を感じられるアスファルト舗装、歩道は自然石の石畳舗装としています。
 - ③大学との連携
関西学院大学生の活動の場として設けた「柏原スタジオ」を拠点に、学生がまち歩き等を通じて地域の歴史を学び、地域活性化にもつなげるイベントを開催しています。

ポイント

ココが
コッ！

- ・オルモの開業にあたっては、ニーズの把握として住民へのヒアリング、ニーズを踏まえた店づくりとして評判の古民家再生レストランの研究など、市場調査に力を入れました。味やサービスを徹底的にこだわり、専門家のアドバイスも受けています。
- ・オルモはマスコミにも取り上げられ、遠方からの来店もあるなど人気店となりました。当初は「こんな場所でイタリアンなど…」との声もありましたが次第に賛同を得られ、地元の人々の理解や協力のもと、次の空き家活用にもつながりました。

こんな
苦勞が

- ・当初、建物所有者は建物を取り壊して駐車場にすることを決めていました。そのため、建物を借りることに理解が得られませんでした。①建物の利用価値がある、②家賃を駐車場収入とほぼ同額とすることで理解を得て、借りることができました。

費用
は？

- ・オルモの改修費 2,500 万円のうち、1,000 万円は県の空き店舗対策に関する補助金で、残り 1,500 万円は銀行からの融資（「まちづくり柏原」取締役が保証人）で調達しました。



イタリア料理店「オルモ」

この事例をもっと知りたい場合

株式会社まちづくり柏原



TEL 0795-73-3800

HP <http://www.kaibara.org/>